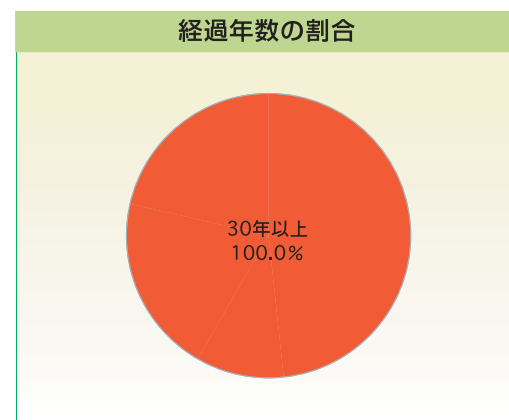


## 2. キャンパス概要

### 2.2 施設の現状

#### 2.2.1 経年別建物配置図



※( )内は改修歴有の割合を示す。

経過年数	築年数
30年以上	昭51年以前
20～29年	昭52～61年
10～19年	昭62～平8年
0～9年	平9年以降

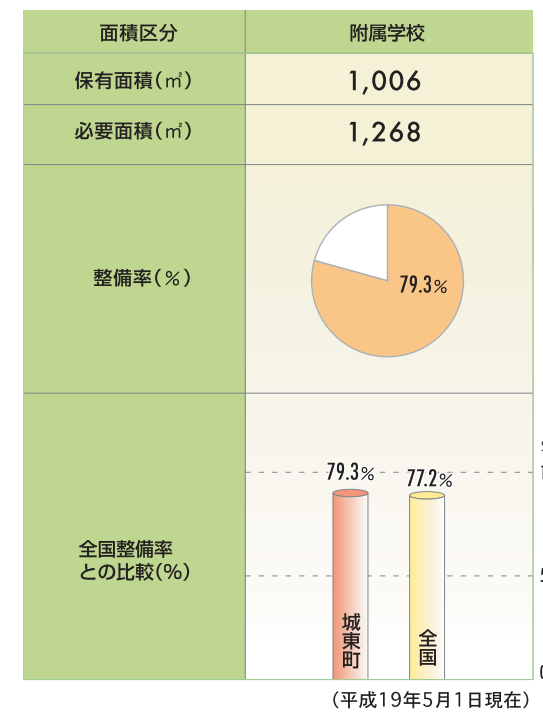
(平成19年5月1日現在)

#### 2.2.2 現状施設のデータ

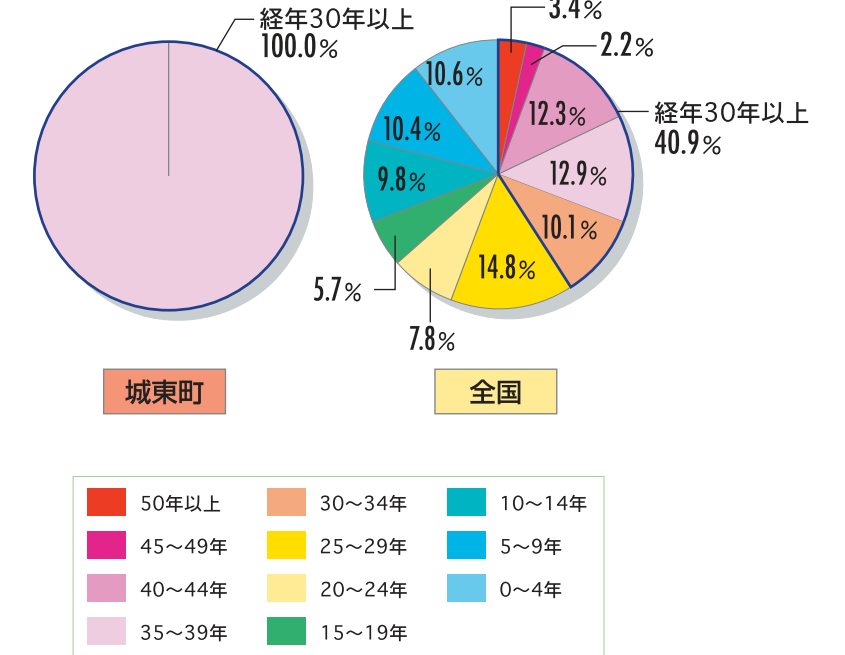
城東町キャンパスにおいては、保有面積が約1,000㎡で全ての建物が築後36年を経過している。また、管理棟については耐震性能が低い。このため耐震補強やバリアフリー対策と合わせて老朽改善整備を計画的に実施する必要がある。

附属学校の整備率は約79%であるが、相談室やPTA室、図書室等が不足している。

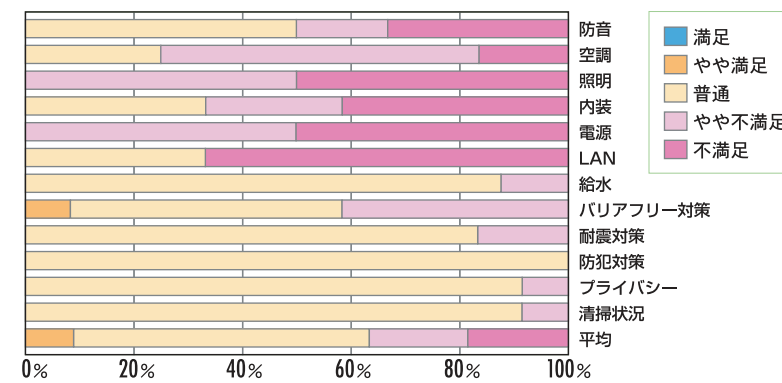
#### 面積区分毎の要整備面積及び整備率



#### 経年別保有面積割合

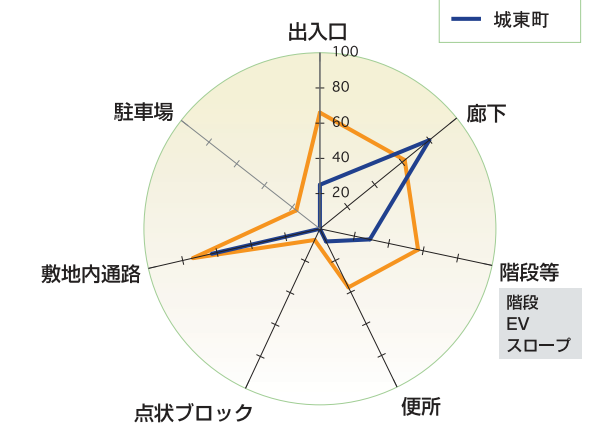


#### 室調査分析結果



教職員を対象とした室調査によると、特に「照明」や「電源」などの室内環境について不満足、やや不満足と回答した割合が平均値を大きく上回り、特に利用者が不満と感じている。このデータからも既存建物に対する老朽改善整備が必要である。

#### バリアフリー調査結果



バリアフリー調査集計表によると、廊下等を除いて対策率が5割以下となっている。このデータは大学全体に比べても低い値となっており、整備の必要がある。